

## I 組織の使命

競輪事業部は、当市の財政に貢献することをめざし、函館競輪の開催および他場開催競輪の車券発売を行っています。

競輪事業部のミッション（使命）は、

競輪事業の実施により財政への貢献をめざすとともに、北海道で唯一の競輪場として、自転車競走の振興と発展、さらには産業振興とスポーツ振興に寄与することを目標に、将来にわたって競輪文化の明かりを絶やすことなく灯し続けることです。

全国的な人口減少や高齢化の進展、価値観の多様化など様々な要因によって競輪界を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、また、かつては地域性の強いレジャーとしての位置づけであった競輪事業も、交通体系の発達やIT技術の進展とともに全国規模の車券発売が可能となり、他の競輪場との競争は激しさを増しております。

さらに、令和2年度(2020年度)以降は、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、全国的に競輪の開催中止が相次ぐなど、業界全体が大きな影響を受けているところです。

このような厳しい環境の中で、現在の競輪ファンの維持に加え、新たなファン層の開拓や、経費節減等による収益確保が今まで以上に強く求められていることから、環境の変化に柔軟に対応し、その使命の達成に向け組織が一体となって取り組みます。

## II 組織の基本方針

競輪事業は大きな変革期にあります。競輪事業が果たしてきた歴史的な意義を忘れることなく、常に自己革新と新たな課題への挑戦（チャレンジ）を続け、安定した経営基盤の確立に向け、全力で取り組みます。

競輪事業を将来にわたって引き継いでいくためには、競輪ファンばかりでなく、多くの市民の理解を得ることが不可欠であり、競輪が果たしてきた役割や現状などを知っていただけるよう、これまで以上に広報活動を行うとともに、オリンピック競技にもなっている自転車競技の魅力を伝える努力を続けます。

全国競輪関係機関との情報共有に努めるとともに、組織内の情報を共有化し、自由闊達な雰囲気の中で、時代の変化をつかみ、失敗を恐れずに効果的・効率的な事業運営の確立に組織一体となって取り組みます。

国内や地域における新型コロナウイルス感染症の状況を引き続き注視し、開催運営にあたっては、市民をはじめとしたお客様や参加選手、開催関係者の健康と安全を確保するため、適切な感染防止対策を講じます。

### Ⅲ 年度評価 総評

1 競輪事業は、機械工業の振興をはじめ、体育事業など公益の増進とともに、地方財政の健全化を目的に行っております。

令和5年度(2023年度)の売上については、コロナ禍の終息後も好調を維持しており、特にインターネットを中心とした函館競輪のPRおよびキャンペーンの強化に加え、他の競輪場等への発売協力依頼等を積極的に推進した結果、売上は当初予算対比で約12億円の増である約323億円と、函館競輪史上2番目となる売上となる見込となっております。

さらにコロナ禍での開催形態が維持されたことや、経費の節減等により開催経費が抑えられたことで収益を確保し、令和4年度(2022年度)に引き続き施設整備基金へ着実に積立てを行うとともに、一般会計へも当初予算を大幅に上回る繰出しを行うことができる見込であり、その繰出金は各種公共施設の整備や運営に役立てられているところです。

2 令和5年度(2023年度)においては、新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行したことや、関係者の感染状況が落ち着いたこと等により、全ての日程を無事終了することができました。

3 ビッグレースについては、令和5年度(2023年度)には函館競輪では2年ぶり5度目となる特別競輪「サマーナイトフェスティバルGⅡ」を開催し、キャンペーンやイベントのほか、地元企業とのコラボ商品開発等の新たな取り組みも行ったことで大きな注目を集め、市民をはじめとした多くのファンにご来場いただき開催が大いに盛り上がったことに加え、目標を大きく上回る売上を達成することができました。

また、誘致活動にも継続して積極的に取り組み、令和6年度(2024年度)には函館競輪で令和4年度(2022年度)以来2年ぶり4度目となる、年2回のGⅢナイターの開催が決定しているところです。

4 今後も包括受託者をはじめとした関係者と連携して安心・安全な開催運営に努めるとともに、新規ファンの獲得や、時代に即したファンニーズに対応した施策を推進し、さらに収益性を高める効率的、効果的な業務体制を確立することで「競輪事業」が地域の財産の一つとして将来にわたって継続するよう、職員一丸となって努力してまいります。

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 函館競輪の魅力向上			
(1) 競輪事業および自転車競技への理解の促進			
<ul style="list-style-type: none"> <li>競輪事業について市民の理解を促進するため、広報活動を充実するとともに、関係団体が主催する競技大会やサイクリング大会への支援などにより自転車の魅力を市民に伝えます。</li> </ul>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道自転車競技会選手権大会やトラック記録会などの開催を通じて、地域における自転車競技の普及・振興に努めた。</li> </ul>
(2) ファンサービスの充実と新たなファンの開拓			
<ul style="list-style-type: none"> <li>売上増を図るため、包括受託者と連携し、地元をはじめとした競輪ファンのニーズに合致した施策を積極的に展開するとともに、地元選手会や選手会OB会等と協働し、競輪事業の活性化を図ります。</li> </ul>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営函館競輪のファンである本場来場者のほか、スターライト読者およびスピードチャンネル視聴者、インターネット投票者等から意見、要望を調査し、ファンサービスの改善に役立てた。</li> <li>ミッドナイト競輪を前年度に引き続き24日間開催し、日中開催では競輪を楽しむことができない（主に仕事をしている）方々を中心とした新規ファンの獲得に努めた。</li> <li>市営函館競輪開催日はインターネット上で毎日レース実況の配信およびレース展開予想を実施した。また、インターネット向けの新たなファン向けに選手OBを起用したニコニコ生放送の新たな番組の配信を行う等、ファンニーズに対応した情報提供を実施した。</li> <li>函館けいりんYoutubeチャンネルで冬期場外発売GⅢ以上の決勝レースを対象に予想コンテンツを展開しインターネットユーザーに対してPRを行った。</li> <li>民間ポータルサイトのインターネット配信番組において、函館競輪のレース放映時に函館競輪場のPRコーナーや地元特産品等の紹介コーナーを設けていただくなど、多くの競輪ファンに対して函館の魅力を発信した。</li> <li>コロナ禍が明けたことで市営函館競輪開催時の決勝戦出場選手インタビューを復活させるなど、ファンサービスの向上を図った。</li> </ul>

区 分	担当課	評価	評価の説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>予想会や選手OBを活用したガイドンスコーナーの充実等により, 若年者や初心者をはじめとした新たなファンの開拓に注力し, お客様が快適に滞在できる環境の充実に努めます。</li> </ul>	<p>事業課</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>函館競輪を応援する著名人や地元タレントをはじめとした個人を「函館けいりん宣伝大使」に任命し, 令和5年度(2023年度)においてもSNSや新聞社訪問, 場内イベントの出演等を通して各人に函館競輪を幅広くPRしていただいた。</li> <li>初心者でも気軽に参加できる「優勝者当て」や「優勝者地区当て」クイズを実施し, SNSでPRすることで老若男女問わずに競輪へ興味を持っていただく努力をした。</li> <li>来場者向けの函館競輪AI予想サービスにより, 初心者でも気軽に車券購入するためのヒントを得られる環境を構築している。</li> <li>若手の選手OBによる初心者向けガイドンスコーナー等で, 初心者が気軽に立ち寄り競輪のことを質問できる環境を整備している。</li> <li>市営函館競輪開催日だけでなく, 特別競輪の場外開催時などにおいても, 選手会OB会や実況アナウンサーによるレース展望を開催することにより, ファンとの一体感を高めることができた。特に令和5年度(2023年度)からはガールズ競輪のレース展望を元ガールズ選手を起用し開始するなど, 内容を拡充した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>近年, 既存のファン層だけでなく, 若年者や女性を中心とした新たな層からも注目されている「ガールズケイリン」の開催数を, 今後もより多く開催できるよう関係機関に働きかけるとともに, 未来のガールズケイリン選手の発掘, 育成サポートを行う「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト」を継続して実施し, 自転車競技の普及・発展を目指します。</li> </ul>	<p>事業課</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガールズ競輪開催数の確保に向け関係機関に働きかけ, 函館競輪では10年目となる「ガールズケイリン」を引き続き開催するとともに, トップクラスのガールズ選手や, 地元ガールズ選手によるトークショーの開催等も積極的に実施し, 今まで競輪場に足を運ばなかった層がガールズケイリンの観戦を契機として来場する機会を捉え, 競輪の魅力を効果的にPRし, 認知度向上に努めた。</li> <li>北海道所属の未来のガールズケイリン選手を発掘, 育成サポートする「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト(WGP)」を実施し, 日頃の練習状況や日本競輪選手養成所入所試験結果の速報等をSNSでリアルタイムに広く情報発信した。地域だけでなく日本全国に対して情報を発信することで自転車競技や競輪選手という職業の魅力に関する興味・関心を醸成した。</li> <li>令和5年度(2023年度)は訓練生1名が日本競輪選手養成所入所試験に合格している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>函館競輪場やそこで行われる開催情報・イベント等を知っていただくためのツールとしてWebやSNS媒体をこれまで以上に活用し, 多くのお客様に函館競輪場の魅力を伝えることで来場者の増加や新規ファンの確保に努めます。</li> </ul>	<p>事業課</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>函館けいりんHPやSNS媒体により, 開催情報・イベント情報・レース情報提供を行うことで, 市営函館競輪および函館競輪場の魅力の発信に努めた。</li> <li>サマーナイトフェスティバル開催時に, 競輪未経験者でも気軽に楽しめるWebゲー「GEKIOSHI7」をリリースし, 全国にPRして多くの参加者を得るなど, 新規ファンの増加に努めた。</li> </ul>

区 分	担当課	評価	評価の説明
<b>(3) 集客性の高いビッグレースの誘致</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道唯一の競輪場として、関係者が一丸となって特別競輪等の集客性の高いビッグレースの開催誘致に取り組み、地域における競輪の認知度向上とファンの拡大に努めます。</li> </ul>	事業課	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度(2023年度)は、5月に記念競輪を開催したほか、2年ぶり5度目となる特別競輪の「サマーナイトフェスティバルGⅡ」の誘致に成功し、大規模イベントや地元企業とのコラボレーション等の新たな取り組みを積極的に行い、全国に向けたPRも強化することで開催を大いに盛り上げることができた。サマーナイトフェスティバルではバンクを彩るLEDの「光の演出」をはじめとした各種演出のほか、急激に伸びているインターネット売上の増加策として、令和3・4年度(2021・2022年度)に引き続きインターネットTVの現地スタジオからの放送や、YouTubeなどの各種媒体で函館競輪のPRを行うことなどにより、目標を大きく上回る売上をあげることができた。</li> <li>関係機関に対してビッグレースの積極的な誘致活動を行った結果、令和6年度(2024年度)には2年ぶり4度目となる年2回のGⅢナイターを開催することが決定している。GⅢナイターの開催に向け、準備を入念に進めていくとともに、今後についても一層積極的な特別競輪の誘致活動を展開していく。</li> </ul>
<b>(4) 他の競輪場等との連携促進</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>電話投票会員や臨時場外向けのファンサービスの拡大を図るとともに、全国の競輪場やサテライト、民間ポータルサイト等へ発売協力を依頼し、場外車券売場の拡大を図ります。</li> </ul>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>電投、民間ポータル購入者向けに独自性の高い企画型のキャッシュバックキャンペーンを実施し、増加傾向にある電話・インターネット投票売上の取込みに努めた。</li> <li>他競輪場やサテライト等への発売協力依頼を継続して行ったことにより、最大限の臨時場外車券売場を設置することができた。</li> </ul>
<b>2 競輪事業の経営改善</b>			
<b>(1) 関係機関との連携による安全な開催運営・各種制度の改善</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の状況を引き続き注視するとともに、開催中の事故防止などをはじめとした安全に競輪開催を行うための取り組みを、全国競輪関係団体等と連携して実施します。</li> </ul>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行したことや、関係者の感染状況が落ち着いてきたこと等により、全ての開催を無事に実施することができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>長年の要望活動などが実り、平成24年度から競輪制度自体を見直し、長期的に競輪事業を継続できるよう、JKA交付金の負担軽減など自転車競技法が改正されたほか、競輪選手数やレース数の削減などによる選手賞金の削減などの改革が進められてきましたが、これらの効果を検証しつつ、今後とも関係機関と連携し、各種制度の改善要望活動を実施します。</li> </ul>	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>JKA競技審判等委託料等の削減により、施行者の負担が軽減された。</li> </ul>

区 分	担当課	評価	評価の説明
<b>(2) 競輪場施設の計画的・安定的な維持管理</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>競輪場施設は、全面改修から既に20年以上が経過しており、今後の大規模改修等に要する財源確保が課題となっていることから、施設の計画的・安定的な維持管理を目的とした「競輪事業施設整備基金」への積み立てを行うとともに、しっかりとした財政収支試算を行い、将来の大規模改修等に備えます。</li> </ul>	事業課	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍終息後も売上が引き続き好調であることや、PRおよびキャンペーンに注力したことでインターネットによる車券売上が当初の想定よりも伸び、当初予算を約12億円上回ったこと、コロナ禍での開催形態が維持されたこと等により開催経費が抑えられたことで、当初予算を大幅に上回る395,851千円を基金に積み立てることができた。</li> </ul>
<b>(3) 市財政への貢献</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の収支改善により見込まれる収益については、施設改修費への充当や基金への積み立てのほか「市財政への貢献」という競輪事業の使命を達成するため、一般会計への繰り出しを継続して実施します。</li> </ul>	事業課	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍終息後も売上が引き続き好調であることや、PRおよびキャンペーンに注力したことでインターネットによる車券売上が当初の想定よりも伸び、売上が当初予算を約12億円上回ったこと、また、コロナ禍での開催形態が維持されたこと等により開催経費が抑えられたことで収益が確保され、当初予算を大幅に上回る395,000千円を一般会計に繰出すことができた。</li> </ul>